2022年6月11日

(以前の月例会発表) Quick Index

コロナの感染が下火になり、２年以上の ZOOM オンライン交流会を経てこの６月から木材・合板博物館での対面交流会が再開しました。
広々とした空間で、参加者は 20 名。大成功の交流会となりました。

松尾さん

●四方転びの踏み台

過去に四方転び盆製作用のジグを開発、今回は四方転びの踏み台を研究している。
取扱いが簡単で高精度に加工できるジグの完成が楽しみです。

諸井さん

●竹製洗濯バサミで卓上ボール盤の穴あけ深さ設定

卓上ボール盤の穴あけ深さ設定が面倒なので竹製の洗濯バサミをストッパーにしてボルトを挟めば
簡単に深さ設定できる方法を発想。
竹の洗濯バサミにタップを立てれば、面倒なボール盤の深さ調整が「片手で！」「一発で！」できちゃいます !(^^)!
ZOOM では出来なかったな完成品の回し見が出来、きれいなネジ山に感心の声が上がっていました。

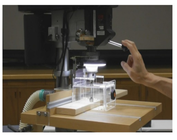
●ルータープレーンの刃研ぎ方法

ルータープレーン本体の3か所を角材に接触させることで安定させ、L字状の刃を通常とは反対に上から
本体に差し込むだけで準備完了。
サンドペーパーを砥石代わりに刃を研ぐ方法。これも実に単純で確実に研ぎ角度を設定することができる
優れた方法。

梅村さん

●小型卓上ボール盤の使い勝手改良

改良点
・テーブル拡張
・それに伴い昇降ハンドルとロックレバーをテーブルの外側で回せるようユニバーサルジョイントなどで延長
・テーブルには集塵ポート付きフェンスやTスロットによる固定具を取り付け
・穴あけ深さをセットは諸井さん式の洗濯バサミアイデアを使用
・ドリルチャックはユキワ精工の製品に交換、加工精度を高めた
・締めつけはチャック周りに LEDリングライトを装着。元々リングライトは撮影時の照明器具
これにより、ドリルビットの位置決めが見えやすくなっている
・材にかぶせてあるのはアクリル製集塵カバー
短冊状のアクリル板が上下することで材の大きさにフィットする
このカバーは未だ開発段階とのこと



ドルトンさん

●モラビアンワークベンチ

以前 ZOOM 交流会でこの模型を発表したが、今回は実物のワークベンチを製作し組み立て方を発表。
このワークベンチは持ち運び可能で、分解，組み立てが簡単というのが特徴。
ドルトンさんは重いワークベンチを車に積み、運んできてくれました。

杉田さん

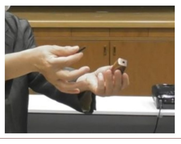
●あられジグ

ノコギリ木工の縦挽きガイドで幅の狭い材にあられ組み加工する方法から発展してできたジグ。
マグネットシート面からストッパーまでの距離を徐々に広げ、それぞれのあられ組みの切り込み位置を決めるというもの。
「◌印が見えたらノコ刃スペーサーを挟む」というルールに従いながら切り込むだけ。

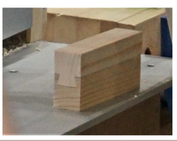
松島さん

●バードコール

金属ボルトをきつめの木の穴にねじ込み、回すことで摩擦により鳥の鳴き声のような音が出る小さな道具。
バードコールという。



近藤さん

●蟻形のスライドレール

トリマーテーブルに載せたジグで蟻形のスライドレールを完成させる。
凹凸のはめ合わせ時の緩さ、きつさを自由に加工できる微調整機能が備わっている優れもの。
ジグはフェンスとなる大きなクサビを2つ向かい合うように組み合わせた状態が基本構造で、
クサビをすり合わせてフェンス位置を微妙に変えることができる。
次回はこのジグの構造と作り方の紹介が予定されている。
近藤さん本当に久しぶりの登場でした。